



NEWS RELEASE

2016年11月16日

株式会社キャピタルメディカ 代表取締役 古川 淳

ヘルスケアベンチャーの事業を投資育成する国内最大級のCVCを設立  
～ 当社が経営支援する全国22ヶ所の病院と14ヶ所の高齢者施設に対して試験導入が可能 ～

当社は、下記のとおり、ヘルスケアセクターを対象にベンチャー投資育成事業を行う株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ(本社:東京都 港区、代表取締役:青木 武士)を設立いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. キャピタルメディカ・ベンチャーズ設立の目的

成長戦略と構造改革の加速化を図る「未来投資会議」では、医療データの利活用やIoTや人工知能、ロボットなどの医療・介護現場への社会実装の可能性を議論しています。ヘルスケア領域でイノベーションを起こすベンチャー企業はHealthtechなどと呼ばれ、その期待が高まっています。

一方で、ヘルスケア領域での事業展開は、特に医療ではテストフィールドを見つけることが難しい状況があります。例えば、いくつもの法令で制限され、地域の医療を守る病院に対して、β版のプロダクトをテスト導入しながら事業開発を進めることは困難で、テストフィールドが無いが故に製品やサービスの改善PDCAが廻らず、事業拡張に苦戦しているベンチャーが散見されます。

社会保障費削減や医療介護の質の向上を図るためには、イノベーションの果たす役割は大きく、特に医療業界以外のプレイヤーによる新たな視点からの製品やサービスは、医療介護の発展に欠かせない重要な要素の一つであると考えられますが、ベンチャー企業のヘルスケア領域に対する知識やネットワークの未成熟さも相まってイノベーションが進みにくい構造が存在しています。

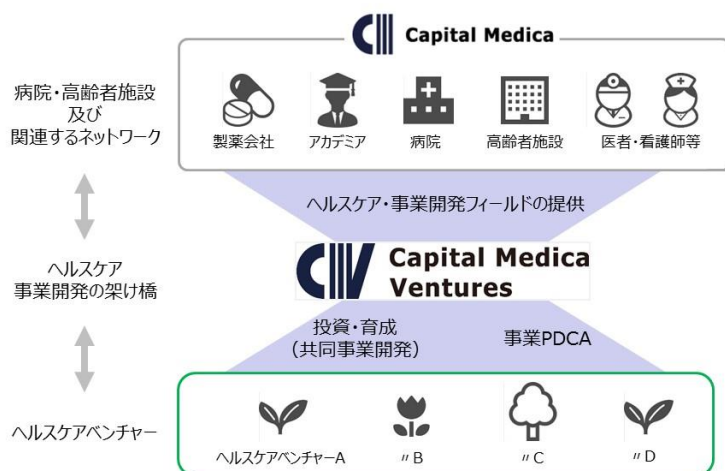
このような構造の打ち破り、ヘルスケアセクターで必要とされる有望な事業を創造するためキャピタルメディカ・ベンチャーズを設立いたしました。

当社が経営支援する全国22ヶ所の病院と14ヶ所の高齢者施設をフィールドとして活用し、事業のPDCAサイクルを加速化させることによって、投資先ベンチャー企業と共にヘルスケア領域でのイノベーション推進に貢献して行きます。

## 2. キャピタルメディカ・ベンチャーズの特徴

ヘルスケア領域における事業開発のテストフィールドを提供

全国42ヶ所の医療介護施設



## 3. 設立会社の概要

名称：株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ

所在地：東京都港区虎ノ門1丁目2-3 虎ノ門清和ビル10階

代表者：代表取締役 青木 武士

事業内容：ヘルスケア領域のベンチャー投資/セミナー・勉強会の開催/経営支援

資本金：1,000万円（株式会社キャピタルメディカ100%）

運用資金：30億円（小規模からスタートし、市況と事業進捗に応じて規模を広げます）

ホームページ：[http://capimedi.com/support/venture\\_capital/](http://capimedi.com/support/venture_capital/)

以上

### 【株式会社キャピタルメディカ】

所在地：東京都港区虎ノ門1丁目2-3 虎ノ門清和ビル10階

事業内容：病院の経営支援/医療周辺事業/介護施設の運営

病院：22施設(3,720床)、クリニック：5施設、高齢者施設：14施設

資本金：1,355.5百万円(2016年1月現在)

ホームページ：<http://capimedi.com/>

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社キャピタルメディカ 経営企画部 中村 健太郎 電話番号 03-5501-2271